GOCHMES A



GOCHAMAZE times [SOCIAL SQUARE]

あなたのまちの ソーシャルスクエア

SOCIAL SQUARE



TEL 070-3349-6785



クレール・アヴェニュー A 号 **TEL** 070-1147-6039 MAIL ss_koriyama@sdws.jp

西宮店



TEL 090-8377-4839 MAIL ss nishinomiya@sdws.jp 水前寺店 熊本県熊本市

TEL 080-3525-9426

MAIL ss iwaki@sdws.jp



上熊本店 熊本県熊本市 就労移行支援 TEL 090-2167-2256

MAIL ss_kamikumamoto@sdws.jp

MAIL ss_kamiarakawa@sdws.jp

講師・ご寄付・コラボ 募集しています!

詳しくは QRコードより



障害福祉事業所 SOCIALSQUARE ソーシャルスクェアってこんなところ!

つながる広場」という意味。社会と して、関わりを少しずつ増やしてい きたい方には地域社会との交流の場 として、あなたの一歩を応援します。



ずっと興味のあった資格取得を目指す もよし、SOCIALSQUARE の提供す るプログラムに参加するもよし。覚え たことや感じたことを他者に共有でき る環境があるからこそ、これまで得ら れなかった気づきや学びがあります。



同じ場所・同じ時間を過ごしたり、 自分の困りごとを話したり。少しず つお互いのことを知り合う中で、きっ とあなたにとって心地よい関係性が 生まれるはず。なんでも相談できる

〜 障害ゃご病気で、生きづらさや働きづらさのある方のための支援機関です/

スクエアご利用メンバー大募集中!

ソーシャルスクエア



#うつ #統合失調症 #発達障害 #精神障害 #ADHD #引きこもり #就労支援 #難病 #自閉症 #高次脳機能障害 #双極性障害 #復職 #ニート #職場定着



詳細をご覧ください↑

NPO 法人ソーシャルデザインワークスで **\ 一緒に働いてみませんか?**/

新卒・中途採用通年募集中



詳しくは QR コードから求人サイトをご覧ください





G O C H A M A Z E times[Statement]



なりません。地域の中に「ごられる場や機会を増やし、そられる場や機会を増やし、そられる場や機会を増やし、そられる場や機会を増やし、そられる場でであり、生きにくさを抱めバリアが少しづつ減っていがらは、今まで活動を行なっていからは、今までの開催するイベントはからは、今までの開催するイベントは こ言われた」という声を聞ある方と一緒に何かをするまいそうで参加を見送った参加を断られることがあっ 物に参加.

6世」の概念については、ぜなんでこんなことをやっただければと思いにしていただければと思いはなんでこんなことをやっは障害のある方々に通ってはに立ていとに近れていとは自立した生活スキルを身には自立した生活スキルを身には自立した生活スキルを身にお望に合わせて「支援」をある方の居場所としてソーをある方の居場所としてソーをがいる。

宗教 る違 性的 のあ ことを る 指 を知 向な が 存 まぜ ています 合 おう 言葉を使う だ か

> ▼フリーペーパー GOCHAMAZE times ●2015-2021 累計発行部数

> > 80,000部

あら ゆ

B

最新記事は WEB の GOCHAMAZE times で!

https://gochamaze.jp

今回の特集やインタビューの全文を公開中!過去のタブロイドのアーカイ ブはもちろん、ウェブ限定のインタビューや対談など、ここでしか読めな い記事も豊富にあります。ぜひ一度ウェブ版もご覧になってみてください。

ま

は

WHO WE ARE



KAORI WATANABE



NAOKO ETOU

▼ごちゃまぜまちづくりイベント

参加延べ人数 3,456人 子ども:1,023人

1997年生まれ。熊本県熊本市出身・在住。2020年に熊本県内の大学を卒業。熊本市を拠点に

ソフトパステルを用いて、日常の風景から些細な感情を切り取るように絵を描くことを徹底しており、

アートワーク制作や映像プロデュースも手掛ける。作詞・作曲・編曲にも取り組んでおり、マルチ

に活動の幅を広げている。SNSを中心に活動をしており、全国のマニアと交流の場を設けている。

●2014-2021 累積実績

表紙デザイン|志見祥(しみしょう)

活動している画家 /track maker。

Twitter ID:@_ryo16_





MINAMI YAMAZAKI TAIKAN FUJIKI

RYUTA SATO







大人: 2,433人



MICHIFUMI OKUTA









MINAMI TAGAWA

NPO法人ソーシャルデザインワークス

私たちは「すべての仲間の幸せを追求すると共に諦めのない社会を 創る」を理念に掲げている NPO 法人です。2019 年現在、福島県レ わき市、福島県郡山市、兵庫県西宮市、熊本県熊本市で障がい福祉 サービス事業所を展開しています。障がい福祉サービス事業を軸とし、 障がいの有無や性別、国籍、年齢など一切関係なく、様々な属性の方々 が自然に交流ができる機会を、ごちゃまぜイベントと題し企画運営し ています。また、ごちゃまぜの発信・広報を行っています。



いわき Iwaki

- スクエアフェス系イベントシリーズ
- ●はじまりの美術館とコラボ! 「きになる⇄まちなか美術館」開催

西宮 Nishinomiya

- ●職場実習
- ●ふらっとスクエア
- ●イベントなどの応援 (ひらけ公民館、トライやるウィーク)

郡山 Koriyama

- ●DIYワークショップ
- ●スクエアライブラリー

取り組んでます



小さなまちづくり

プラレールやペーパークラフト、 マスキングテープなどを使い、 ソーシャルスクエアの中に「小 さなまち」づくりを行いました。 スマホで運転できるプラレール レヨンに、子どもたちは熱狂!

2015

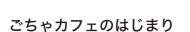
| | いね | わ





2019





スクエアを開放し、誰もが「ごちゃまぜ」で参加できる 日限りのカフェを開催。地域の中で一人ひとりが安心して生 活できるよう、暮らしやすい地域づくりと孤独感の解消や仲 間づくりを目的として、コロナ感染が拡大するまで毎月実施 していました。テレビゲームや卓球のほか、時には講師を招 き、ワークショップを開催したり、グリーンバードさんとコ



Kumamoto



はじまりのイベント

まぜ遠足&芋煮会」が開催。

2015年11月ごちゃまぜイベントはここから

始まりました!「いわきから『ごちゃまぜ』

あらゆる障害のない社会へ」! NPO 法人

TATAKIAGE Japan と共同で「三坂地区ごちゃ







地域の図書館スクエアライブラ リー、遊び場つくり隊だんだん、 楽"菓子屋ひろばとのコラボイベ ントを開催しました。本ありダン ボールあり駄菓子ありの、これぞ



自分を大切にする性の話

2021

助産師の相樂育美さんをお呼びして の親子で学ぶ性教育イベントを開催 しました。なかなか話せない性のこ とを地域で話し合える機会を作り、 全4回の講座を通して皆さんで「自 分を大切にすること」を考えました



Koriyama

みんなでニュースポーツを楽しもう



地域へのはみ出し

事業所前の人通りや、大きな窓ガラス といった強みを活かし、道ゆく人の興 味関心を集める地域のはみ出し企画を 行っています。こたつや屋台、ガチャ ガチャに野菜販売など、ちょっとした

みんなが主役

芸術文化体験交流事業

いわき市×金澤翔子美術館とのコラボ

企画。日本文化を学ぶ3年間・計13回

に及ぶ壮大なごちゃまぜイベント。日 本文化や地域ならではの伝統を学ぶ

ワークショップにも取り組みました。

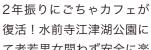


謎解きで知ろう! LGBTQ ~みんなちがって、みんなふつう~

2021年11/27(土)ソー シャルスクエアいわき店 をして LGBTQ のことを 学べるイベントを開催。 ナゾが隠された町を歩き ながら答えを探っていく と…?というイベント。







復活!水前寺江津湖公園に て老若男女問わず安全に楽 しめるスポーツである「ス カイクロス」を参加者の皆 さんと楽しみました。



QR コードへ

゚お待ちしています~ソーシャルデザインワークスな表紙のソーシャルスクエア

表紙のソ

した事例だけでなく、私たちのした事例だけでなく、私たちのした。居場所、スポーツやものした。居場所、スポーツやものした。居場所、スポーツやものした。居場所、スポーツやものいが「ごちゃまぜ」のスタイル。を企画・運営・実施できる。あを企画・運営・実施できる。あると思います。 ると思います。 ると思います。 ででちゃまぜ」のスタイル。ると思います。 ででちゃまぜでコラボしたい!にごちゃまぜでコラボしたいと思ってにごちゃまぜ」のスタイル。

かり、イベントには累計約35 の方にご参加いただいていまい文化を作る」ことです。これい文化を作る」ことです。これい文化を作る」ことです。これで大化な中「社会の持続可能性」そんな中「社会の持続可能性」をいう名前で広く浸透し、多様ーシティも「なんとなく良いものが、イベントには累計約35かり、イベントには累計約35かり、イベントには累計約35かり、イベントには関連があると言っていまかり、イベントには関連があると言っていませい。 き市から始まった活動も今でら始まったごちゃまぜ活動。

これからのごちゃまぜ

ごちゃまぜ活 動へ賛同頂け る方は上記の

各拠点のごちゃまぜ 裏

出した」

」ごちゃまぜ。特集ペーました。そこで目指しも

- ジで紹介. 地域のイベ

な事業所前の拡充だけでなく、

参加者目線で楽しむこ

してサポ

を行う機会を増や

舞台裏や、企画実現までの 苦労話などなど

が多かったので企業の方と励ましあったりして、変なりなど完成させました。あまりにもメールのやり取り日メールのやり取りを行って、何とかイベントの段取 最終的には私と企業の担当者の方でマンツ 方々や自治体とコラボしてごちゃまぜ活動を行って の際はお互いに通常業務をこなしながらのイ コラボいただいた方々や運営クルー -マンで連

企業の方が当日は参加できないという事になってし絆が生まれました(笑)ただ、一緒に準備を頑張っ 5年から地域のさまざ



で水前寺店には残っておらず、開の案が出始めました。当時の 実施目前でコロナ感染拡大で延期となりました。 か調査を始めるところからスタ は202

と思っています。もっといろんな形の「ごちゃまぜ」企画を行は外部とのイベント自粛が続いていますが、 イベントは盛況。 参加者全日

タイルの「ごちゃカフェ」を作っていくのか、原点ちゃカフェ」を継続して行っていくのか、新たなス開時期を見定める間に今までの流れを汲んだ「ご 2年ぶりの「ごちゃカフェ」を開催するそして初回ミーティングから約5ヶ月に立ち返って企画を再度練り直しまし した。現在、 なった (運営側にとって) 思い出深 「ごちゃカフェ」初の屋外開催でしたが、 第7波のコロナ感染拡大で水前寺店で した。どんなことをしていたの 3らず、新規スタッフで企画当時の運営スタッフは異動 となるところがイベント -日になりま

郡 山店

西宮店

打ち出す企画数が少なかったり、やっと軌道に乗ってきたと思えばコロナ禍で断念せざるを得なかってきたと思えばコロナ禍で断念せざるを得なかったり。大型の商業施設が充実し、行事ごとが少ないかな出す企画数が少なかったり、やっと軌道に乗っいわゆる「イベント」がうまくいかない西宮店。

\ティアも行い、メンバーとともにより地域近隣のNPOや社会福祉協議会で定期的な

まず初めに重心を置いたのが、で大変でした。(笑) GOCHAMAZE活動 LE活動も精力的に行なっていたの郡山店は事業所立ち上げと同時に 「動き続け

かったことです。スクエアが地域の人の想いを体現をやってほしい」など活動に感化された感想が多 、一度関わってくれた人やカル1し続けていました。これは地域への認知1し続けていました。これは地域への認知 -想外だったのが、関わってくれた方々を示すことに繋がったかなと。そして一度関わってくれた人やクルーに対し 忙しいから落ち着いて りたかった」 から・

がちょっとした用事で訪ねてくれる?自分たちから地域に踏み出した結果、

ことが増えて地域の方々

います。外に出ることで顔の見える関係性になり、

しら地域へのアプローチを考えていクルーのアイディアが止まりませんプランは予定がいっぱいです。(笑)た。立ち上げ初動の頑張りが功を奏 活動を企画し続けてい が「本当は私もこういうのがや なんて野暮なことはしませ やってみて予想外だったのが、 る」こと。「今は、 て「継続性」 る場所になれる

僕のビートボックスが世界で評価され を時って、僕の作った技があったんで で、「お前そんなのやったの!」みたい で、「お前そんなのやったの!」みたい な特別なもの、新しいものが評価基準 な特別なもの、新しいものが評価基準 になります。なので子どもとかお年寄 りとか関係なく、特別なもので評価され やりたいことをやったという感覚でした。て輩出する人材の基盤を作りました。最初に話した通り、自分の存在意義を残すような活動をしたかったので大変残すような活動をしたかったので大変がったけど苦じゃなかったという感覚でし よイでて内んてて上る他ダて大成山の。メ?。だででいげよるにンベー人人となっていまうも、



マです。福島(郡山)に来てからはですけど、個人的には一番大きな「ボーダレス」っていうのはありき

て、そうしたら・・・もう衝撃すぎて・・・。 て、そうしたら・・・もう衝撃すぎて・・・。 たりたくないとかじゃなくて「これならやりたくないとかじゃないないかって感じでした。 その後ビートボックスを始めるんですが、始めた当初はビートボックスを始めるんですが、始めた当初はビートボックスを始めるんですが、始めた当初はビートボックスをかっている人は日本には30人いるかいないかって感じでした。当時はとにから徐々に認められてロンドンでのショー、そのステージを経験しました。そこから徐々に認められてロンドンでのショー、そのステージを経験しました。そこから徐々に認められてロンドンでの世界中のビートボクサーが集まるコンベンションやドイツ・ベルリンでのショー、そしてニューヨークのアポロシアターに出演したり活動をしてきました。その中でドイツ世界大会の時にカルチャーショックというか、日本が遅れているなって感じてしまって、それも含めてなんとかしたいと思って。帰国後て一般社団法人日本とユーマンビーをでよる

一体何を見てきて、何を感じて、何をしていくのか。その後日本で社団法人を設立しヒューマンビートボックスを文化にする。年の後日本で社団法人を設立しヒューマンビートボックスを文化にする。国際大会優勝や世界的ステージでの出演で活躍。とあるきっかけでヒューマンビートボックスに魅了され、とあるきっかけでヒューマンビートボックスに魅了され、

人の今までとこれからを聴いた。体何を見てきて、何を感じて、何をしていくのか。

こと」自体は怖いと思わなかったんでたら50年後10年後に「存在しなかったとたら50年後10年後に「存在しなかったととになる」ってことが怖いと感じていると気付いて。その時から何か残せるものはないかなって考えていました。そんな中、プロのビートボクサーのライブが地元で開催されることをたまた、自分が何もせず生きていま常に教えてもらって、それを見に行っま常に教えてもらって、それを見に行っまずに教えてもらって、それを見に行った。

インタビ

「ごちゃまぜな人」第18回

A

S

A さん

時間があったんですよ。3ヶ月くらいじた時期があって、「死」と向き合ったに「死ぬことがめっちゃ怖いな」って感候がヒューマンビートボックスを始め僕がヒューマンビートボックスを始め

て「死」について考えてみたら、「死ぬした。けど、しっかり向き合おうと思っそのことに、

について眠れないほど悩みったんですよ。3ヶ月くら

TATSUYA

1985年11月9日生まれ。 神奈川県横浜市出身。 ・4年連続日本チャンピオン

・国際大会優勝 ・マツコの知らない世界など TVや CM多数出演

回数回

今回はこれまで自分達のやってきた、ごちゃまぜ活動を振り返りつつ、そもそもごちゃま ぜって何だろう、というのを改めて考えていきました。そこで気づいたのは「人」の大事 さでした。人の中にある気持ち、思想が重なり、混ざり合うことでごちゃまぜな場が作 られていくのだなと思います。私達は今後も色々な人と対話をしながら、ごちゃまぜの活 動を続けていきたいと思います。

編集 / 藤木 泰寛

GOCHAMAZE times 2022 秋号

発行日 | 2022 年 10 月 30 日 発行人 北山 剛 編集 | 藤木 泰寛 デザイン | 江藤 菜穂子 撮影 | 今泉 俊昭、奥田 峻史 広報 PR | 渡辺 香

企画・構成 | 大森 亮平、星 和磨 取材 | 奥田 峻史、佐藤 竜太 取材・構成 | 田川 美那海、山崎 美波 発行|特定非営利活動法人 ソーシャルデザインワークス 印刷 | 株式会社東海共同印刷